

みどり森インタークリターの“四方山（よもやま）話”

緑の森博物館（通称：みどり森）のインタークリターによる四方山話のコーナー。
毎号スタッフが持ち回りでお届けしてきましたが、今回で最終回なので、
一人ひとりの忘れられないエピソードをお披露目します。



きんちゃん

春になると、敷地内に自生するヒメザゼンソウの問い合わせが増えます。いつも咲きますか、もう咲いていますか？など。電話でも良く聞かれます。ある時、電話に出ると、おじいさんの声で「姫はもうお出ましになりましたか？」と問われ、びっくり。「もうそろそろです。しばしあ待ちを…。」とお伝えしました。地味だけど愛されているヒメです。ヒメに限らず、みどり森の生きものが皆さんに愛され守られていますように！

子どもたちのキャンプイベントで嵐にみまわれました。突然の雨に活動地から急遽撤収し、軽トラで森の道を爆走していくと、ものすごい風雨とともに目の前で太い枝が落ち、あわや直撃！！これが長いみどり森勤務で唯一身の危険を感じた瞬間で、直撃を免れた自分の運の強さに自信を持ちました（？！）。キャンプに参加した子どもたちのたくましさも印象に残っています。



もよちゃん

秋の木漏れ日と枯葉吹雪を毎年楽しみにしていました！コナラが多いみどり森では、秋には紅葉より黄葉がメインで、黄色い葉に陽の光が差すとキラキラ輝いた色になって、美しさが増します。更に、晚秋になるとはらはらと枯葉が落ち、風の強い日には、沢山の葉が吹雪のように舞い降って本当に素敵！！

そんな森を保つための肉体労働は思ったより多く、スタッフやボランティアさん（頼りになり過ぎ！）の頑張りも印象深いです。

はみだしエピソード

新設！エピソード

所沢エリアの開園（2013年）



MAP-1



ながら第2整備地だった所沢エリア 20.5haが開園し、敷地面積は先に開園していた入間市エリア65haと合わせて85.5haとなりました。

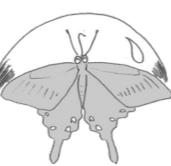
2015年には所沢エリアに園路を新設。これは同エリアで周遊しやすいコースで利用を図ろうと、保全活用協議会で何度も検討を重ねられたものです。現在ナラ枯れの影響で閉鎖中ですが、眺めの良い比良の丘へと続くので、解除されたらぜひ歩いてみてください。

展示室が冷暖房完備に（2024～2025年）

MAP-2

既存のペレットストーブにかわり、2024年に展示室に薪ストーブを設置しました。ナラ枯れ材など雑木林からの発生材の有効利用という目的もあります。暖房効率が格段に上がり、冬の新たな魅力となっています。

2025年には開館以来の30年ぶりの大規模な改修工事で外壁が塗りなおされ、照明が明るくなり、トイレが全室洋式になり、展示室に初めてエアコンが設置されました。多くの方に「きれいになりましたね！」と喜ばれています。



緑の博物館は虫が多いこと！虫好きの私にはまさにパラダイス。

ある日のこと、外で昼ごはんを食べていたら、カラスアゲハが飛んできて私の顔にとまり、何かを吸い始めた。チヨウの翅で前が見にくく、ご飯も食べられなくなるし、くすぐったいしで、手で払ったのにまたとまって何かを吸っている。

虫好きが通じたのか、はたまた汗が吸いたかっただけなのは定かではないが、嬉しいような、びっくりしたような出来事だった。



やぎちゃん



みやたん

半年かけて行ったお米作りイベントが、米作りが初めての私にとって一番の思い出です。作業はどれも大変でしたが、特に大変だったのは田起こしです。イベント前にスタッフが耕運機を使って田植えの準備をしますが、ぬかるみの中で耕運機をコントロールする力が必要で、翌日は腰から下が全て筋肉痛になりました。こうして自分達で作ったお米を食べた時はより一層の達成感を味わえました。



みどり森へ来て1年が経とうとしています。住宅地の奥に突然広がる緑地。わたしが7月から設置した1台の無人撮影カメラには、たった半年の間に哺乳類が7種類も映り、彼らが同じ場所で活動していることに驚かされました。多様な環境、豊かな自然を垣間見た瞬間でした。

現在、これらの写真を展示室にて3月上旬まで展示中です。



りょうくん

「老若男女とお友達になれたこと！」これがみどり森での一番の思い出です。年上でも昔からの友達のように気の合った方が何人もので、会う度に自然談話に花を咲かせることができ楽しかったです♪ 子どもたちとは同じ目線で沢山遊ばせてもらいました。遊びすぎて全身ドロドロで家に帰ったこともあったし、幼児のイベントでは可愛い発見にキュンキュンしっぱなし！本当に豊かな時間でした。



ゆうき

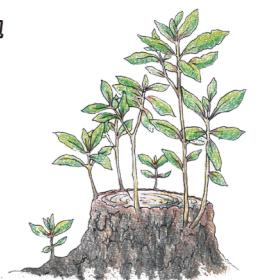
私がみどり森に異動してきた年に行われたこどもキャンプにボランティアスタッフとして活躍していた、一人の大学生がいました。その子は、入社して最初に配属された別の公園で、家族でよく遊びに来ており、こどもキャンプにも参加してくれた子でした。時が流れ、そうした経験を活かしてこどもたちを迎える側になってくれたのが、とても嬉しかったです。



さかでい

案内所に来られる多くの人から沢山の学びの機会をいただきました。○○はどこに行けば見られますか？これは何という生き物ですか？この川の源流は…あの石碑は…などなど。皆様の問い合わせに答えるべくたくさん勉強させていただき、とても感謝しております。知識が深まれば深まるほど、互いが結びつき新たな視野が広がり、学ぶことの楽しさを実感しました。

そんな楽しさや、多くの学びを得ることのできる狭山丘陵の自然を遺し、多くの方の心に自然を大切に思う気持ちの種を蒔き育む事が出来ました。15年、4100日以上過ごした狭山丘陵は私のふるさとのひとつです。



株式会社 自然教育研究センターは緑の森博物館の指定管理者として15年にわたって携わらせていただき、3月末で業務を終了します。これまで関わってくださったみなさんの感謝の気持ちでいっぱいです。またどこかでお会いしましょう。どうぞお元気で！